



2024年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月5日
東

上場会社名 株式会社メディア工房 上場取引所
コード番号 3815 URL <http://www.mkb.ne.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長沢 一男
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 長沢 和宙 (TEL) 03-5549-1804
四半期報告書提出予定日 2024年7月5日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第3四半期の連結業績(2023年9月1日~2024年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第3四半期	1,519	△0.8	△18	—	△23	—	△137	—
2023年8月期第3四半期	1,531	△8.4	37	△76.8	30	△80.3	13	△87.3

(注) 包括利益 2024年8月期第3四半期 △136百万円(—%) 2023年8月期第3四半期 13百万円(△87.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第3四半期	△13.62	—
2023年8月期第3四半期	1.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第3四半期	2,854	1,178	41.3
2023年8月期	2,712	1,345	49.6

(参考) 自己資本 2024年8月期第3四半期 1,178百万円 2023年8月期 1,345百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2024年8月期	—	0.00	—	—	—
2024年8月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年8月期の連結業績予想(2023年9月1日~2024年8月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,993	△3.9	△106	—	△113	—	△292	—	△29.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2024年8月期の通期業績見通しは、各事業の見通しに基づき予測する数値となっております。各事業の進捗並びに業績に与える影響を精査の上、当該連結業績予想に変更が生じた際は、速やかに訂正・開示いたします



※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年8月期3Q	11,300,000株	2023年8月期	11,300,000株
② 期末自己株式数	2024年8月期3Q	1,221,144株	2023年8月期	1,221,077株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年8月期3Q	10,078,899株	2023年8月期3Q	10,078,923株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載される業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がございます。業績予想の前提となる条件及び業績のご利用に当たっての注意事項等に関しては、添付資料「1. 経営成績・財務状態に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、およそ17年ぶりとなる日銀のマイナス金利解除に、賃金と物価の好循環による経済の緩やかな回復が期待されるものの、ウクライナ情勢の長期化による原材料価格の高騰や円安の進行が消費者動向に影響を与えており、引き続き先行き不透明な状況が続いております。

このような情勢の中、当社グループは、「占いの企業」から「働く女性を応援する企業」への変容を目指し、収益を拡大し企業価値を向上させるため、当社が取り組むべき事業の選択と集中について、外部コンサルティングの導入も含めリサーチし、模索してまいりました。その結果、既存事業及び個別のサービスやシステムを精査のうえ、今後当社が飛躍的に成長するために、2つのエンタメマッチングサービス事業サービス（「OneRoof」「CarryGo！」）と韓国食品EC事業からの撤退と、各事業におけるシステムの減損損失の計上を決定し、当第3四半期連結累計期間において、固定資産の減損損失74百万円及び事業撤退損失引当金繰入額19百万円、合計93百万円の特別損失を計上いたしました。また、これに伴い、2024年8月期の通期業績の予測数値及び今後の業績動向を総合的に勘案し、繰延税金資産17百万円を取崩し、法人税等調整額17百万円を計上しております。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,519百万円(前年同期比0.8%減)、営業損失18百万円(前年同期は営業利益37百万円)、経常損失23百万円(前年同期は経常利益30百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失137百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益13百万円)となりました。

なお、当社は、2024年6月19日付開示「特別損失等の計上及び繰り延べ税金資産の取崩し見込み、通期業績予想の修正並びに剰余金の配当予想の修正（無配）に関するお知らせ」及び「株主優待制度の新設に関するお知らせ」でお知らせいたしましたとおり、2024年6月19日開催の取締役会において、株主優待制度の新設を決定しております。これに伴い生じる株主優待制度にかかる費用については、当連結会計年度の決算において、株主優待引当金として計上する見込みです。

セグメントごとの取組み内容及び経営成績は、以下のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを、今後の事業展開等を踏まえ、変更しております。そのため、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。詳細は、下記及び「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」の「II 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

① 占い事業（旧：デジタルコンテンツ事業 / One to One 事業 占いサービス）

占い事業においては、自社Webサイト、ISP、各移動体通信事業者及びApple や Google 等のプラットフォーム向けに占い鑑定や女性に向けた記事コンテンツを企画・制作・配信する1対N向けのサービス及びユーザーと占いの師が電話・チャットで直接、双方向にやり取りできる1対1向けのサービスを行っております。新規コンテンツが不調であったものの、自社メディアの好調であった他、とコンサルティング導入を含む運営見直しにより電話・チャット占いの売上が回復し、売上高は前年同期比で横ばいとなりました。一方、営業利益においては、広告宣伝費及び人件費の増加が影響し、前年同期比で減少しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における占い事業の売上高は1,431百万円(前年同期比1.2%減)、営業利益386百万円(前年同期比5.6%減)となりました。

なお、占い事業においては、事業精査の結果、マーケティングシステム開発費13百万円の減損損失を特別損失として計上しております。

② エンタメ・マッチングサービス事業（旧：SNS事業 / XR事業 / One to One 事業 非占いサービス）

エンタメ・マッチングサービス事業においては、SNSを中心に、ネットとリアルの両面において人々の交流・関係構築の機会や場を提供するサービスを行っております。「きゃらデン」がやや不調となったものの、シミュレーションゴルフ店舗運営により売上は前年同期比で微増いたしましたが、「きゃらデン」及び「OneRoof」の新規ユーザーの獲得に係る広告宣伝費が負担となり、営業損失を計上しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるエンタメ・マッチングサービス事業の売上高は85百万円(前年同期比5.8%増)、営業損失90百万円(前年同期は営業損失113百万円)となりました。

なお、これを受けて、当社では当第3四半期連結累計期間において、「OneRoof」および「CarryGo！」のサービス撤退を決定し、エンタメ・マッチングサービス事業としては、減損損失45百万円及び事業撤退損失引当金繰入額19百万円を特別損失として計上しております。

③ その他事業（ヘルスケア/EC 他）

当社グループでは、企画・開発の初期段階にある事業について、当第3四半期連結累計期間末日時点において、金額又は連結売上高若しくは連結営業利益に占める割合等から重要性が低いと判断した事業等については、一括して「その他」セグメントとして区分し、計上しております。当第3四半期連結累計期間においては、主に韓国コスメEC「Coréelle」および韓国食品EC「アイゴー」の運営の他、医療・美容事業のM&Aの検討並びに新規美容関連サービスに関する先行市場調査及び企画を行ってまいりました。いずれも売上が僅少である中、ECサイトのソフトウェア償却費の他、M&A検討費用、新規美容関連サービス立案に向けた市場調査費の発生により、営業損失を計上しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるその他の売上高は2百万円(前年同期比29.8%増)、営業損失55百万円(前年同期は営業損失11百万円)となりました。

なお、その他事業においては、事業精査の結果、「アイゴー」のサービス撤退による減損損失7百万円を、一方、「Coréelle」については収益性向上のためリニューアルを行うこととし、既存システムの減損損失7百万円をいずれも特別損失として計上しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の当社グループの財政状況は以下のとおりです。

なお、資本の財源及び資金の流動性にかかる情報については、当第3四半期連結累計期間において、重要な変更等はございません。

(資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して141百万円増加し、2,854百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加133百万円及び売掛金の減少48百万円によるものです。

資産の内訳は、流動資産2,437百万円、有形固定資産22百万円、無形固定資産133百万円及び投資その他の資産260百万円となっております。

(負債の状況)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して308百万円増加し、1,675百万円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金の増加68百万円及び長期借入金の増加244百万円によるものです。

負債の内訳は、流動負債932百万円、固定負債742百万円となっております。

(純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末と比較して166百万円減少し、1,178百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少167百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、2023年10月6日開示の「2023年8月期 決算短信」で公表しました通期業績予想を、2024年6月19日開示の「特別損失等の計上及び繰り延べ税金資産の取崩し見込み、通期業績予想の修正並びに剰余金の配当予想の修正（無配）に関するお知らせ」に記載のとおり、既存事業及び個別のサービスやシステムを精査のうえ、今後当社が飛躍的に成長するうえで、撤退するべきサービス等を決定したことに伴い、次のとおり修正しております。

- 売上高：1,993百万円（前年同期比：3.86%減）
- 営業損失：106百万円（前年同期は営業利益58百万円）
- 経常損失：113百万円（前年同期は経常利益49百万円）
- 親会社株主に帰属する当期純損失：292百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益35百万円）

※当社は、当第3四半期連結累計期間において、法人税等調整額17百万円を計上しておりますが、通期業績予想においては、繰延税金資産の回収可能性について保守的に見積り、81百万円を見込んでおります。

なお、当社グループは、事業精査と選択の結果、リソースの集中を決定した既存事業の収益拡大と既存事業とシナジーの高い新規参入事業の収益化を進めるにあたり、社内外に具体的な目標数値と方向性を示すことの重要性を改めて認識し、中期経営計画を策定し、2024年6月19日開示「中期経営計画の策定に関するお知らせ」にて公表しております。

(単位：百万円)	2024年8月期 (予想)	2025年8月期 (計画)	2026年8月期 (計画)
売上高	1,993	2,273	2,894
・ 占い事業	1,878	2,023	2,262
(デジタルコンテンツ)	1,163	1,208	1,395
(電話・チャット)	714	814	867
・ エンタメマッチング事業	112	155	215
・ その他事業 (新規美容アプリ含む)	3	93	416
営業利益	△106	0	250
・ 占い事業	462	458	561
(デジタルコンテンツ)	376	364	436
(電話・チャット)	86	93	125
・ エンタメマッチング事業	△103	△12	20
・ その他事業 (新規美容アプリ含む)	△94	△89	25
・ 共通 (管理) 部門	△370	△356	△356

これらの数値は、各事業の見通しに基づき予測する数値となっております。従って、新規事業の進捗に変更がある場合、利用ユーザー数が大幅に見込みを上回る若しくは下回る場合又は当社グループ事業に関連する法令が改正されあるいは情勢が変化した場合、変動する可能性があります。

なお、財務面に関しては、これまで同様、資産の透明性を確保し、新規事業への挑戦を安定した内部留保によって下支えする健全な経営を行う考えであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,027,423	2,160,433
売掛金	273,217	225,049
商品	57	-
仕掛品	4,157	2,777
貯蔵品	291	309
その他	58,627	49,235
貸倒引当金	△570	△670
流動資産合計	2,363,205	2,437,134
固定資産		
有形固定資産	29,130	22,299
無形固定資産	132,885	133,983
投資その他の資産		
敷金及び保証金	92,605	94,658
その他	94,635	166,357
貸倒引当金	△235	△235
投資その他の資産合計	187,005	260,781
固定資産合計	349,021	417,064
資産合計	2,712,227	2,854,199
負債の部		
流動負債		
買掛金	56,780	51,530
1年内返済予定の長期借入金	629,896	698,204
未払費用	44,145	34,761
未払法人税等	6,154	2,660
未払消費税等	6,694	10,473
事業撤退損失引当金	-	19,557
その他	125,148	115,596
流動負債合計	868,819	932,783
固定負債		
長期借入金	498,018	742,578
固定負債合計	498,018	742,578
負債合計	1,366,837	1,675,361

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	451,459	451,459
資本剰余金	422,578	422,578
利益剰余金	986,491	819,019
自己株式	△514,204	△514,219
株主資本合計	1,346,325	1,178,838
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△935	-
その他の包括利益累計額合計	△935	-
純資産合計	1,345,389	1,178,838
負債純資産合計	2,712,227	2,854,199

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)
売上高	1,531,068	1,519,187
売上原価	760,198	770,141
売上総利益	770,870	749,046
販売費及び一般管理費	733,132	767,165
営業利益又は営業損失(△)	37,738	△18,118
営業外収益		
受取利息	11	3,341
その他	268	422
営業外収益合計	280	3,764
営業外費用		
支払利息	7,671	7,934
その他	6	962
営業外費用合計	7,677	8,896
経常利益又は経常損失(△)	30,342	△23,250
特別損失		
減損損失	-	74,064
事業撤退損失引当金繰入額	-	19,557
投資有価証券評価損	8,000	-
特別損失合計	8,000	93,621
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	22,342	△116,872
法人税、住民税及び事業税	1,327	2,608
法人税等調整額	7,149	17,755
法人税等合計	8,477	20,363
四半期純利益又は四半期純損失(△)	13,864	△137,236
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	13,864	△137,236

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	13,864	△137,236
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	14	935
その他の包括利益合計	14	935
四半期包括利益	13,879	△136,300
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,879	△136,300

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	占い事業	エンタメ・マッ チングサービス 事業	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	1,448,910	80,484	1,529,395	1,673	1,531,068	—	1,531,068
外部顧客への売上 高	1,448,910	80,484	1,529,395	1,673	1,531,068	—	1,531,068
セグメント間の 内部売上高又は振 替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,448,910	80,484	1,529,395	1,673	1,531,068	—	1,531,068
セグメント利益又は セグメント損失(△)	409,794	△113,331	296,463	△11,750	284,713	△246,974	37,738

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ゲーム事業などの事業を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△246,974千円には、各報告セグメントに配分していない
全社費用246,974千円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	占い事業	エンタメ・マッ チングサービス 事業	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	1,431,874	85,141	1,517,015	2,171	1,519,187	—	1,519,187
外部顧客への売上 高	1,431,874	85,141	1,517,015	2,171	1,519,187	—	1,519,187
セグメント間の 内部売上高又は振 替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,431,874	85,141	1,517,015	2,171	1,519,187	—	1,519,187
セグメント利益又は セグメント損失(△)	386,801	△90,118	296,682	△55,591	241,091	△259,210	△18,118

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、EC事業などの事業を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△259,210千円には、各報告セグメントに配分していない
全社費用259,210千円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

今後の事業展開等を踏まえ報告セグメントの見直しを行い、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「デジタルコンテンツ事業」、「One to One事業」、「XR事業」、「SNS事業」の4区分から、「占い事業」、「エンタメ・マッチングサービス事業」の2区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「占い事業」「エンタメ・マッチングサービス事業」及び「その他事業」において、事業撤退によるため及び当初想定していた収益獲得や費用削減の効果が見込めなくなったため、一部の資産について減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において74,064千円であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。